

# ロータリー家族月間によせて

## 大阪中之島RC 会長 針谷 紘一



「ロータリーの友」7月号において、田中作次RI会長がこのようなお話をされたことが紹介されています。「平和と紛争解決は、まずは家庭で実践すべきことです。社会の最小単位は家族ですから、そこからスタートすべきです。自分の伴侶をはじめ、家族全員との平和を常に心がけていれば、家族の一員としての自分を振り返る機会となり、周りに平和の模範を自ずと示すことが出来るでしょう。家族が平和であれば、もっと多くの人の平和へと発展していくはずです」

「奉仕を通じて平和を」をRIのテーマとされた田中作次RI会長の素晴らしい言葉です。

当大阪中之島RCも、会員と家族との懇親を深めるために、親睦委員会が中心となり、クリスマス家族会やバスでの小旅行等を実施しています。

高島凱夫ガバナーを送り出したことで、当クラブは、昨年から今年度にかけて地区協議会、地区大会開催の準備に追われていますが、昨年8月13日には国立文楽劇場で松尾塾子供歌舞伎の鑑賞を行い、17名の会員とその家族が参加して、その後、食事会を催しました。松尾塾子供歌舞伎とは、故松尾波儔江氏により、「日本

が世界に誇る『歌舞伎』を通して、現代の子供たちに日本が大切に育んできた日本人の心を伝えたい」との思いで、1988年に開塾されたものです。塾生は関西在住の3歳～14歳の子供たちで、一流講師の指導を受けて毎年夏に大阪と東京で公演しています。当クラブの子供歌舞伎の鑑賞は3回目となります。

また昨年12月22日には、当クラブの例会場である太閤園でクリスマス家族会を開き、チェンバロの演奏、マリンバの演奏を楽しんで、ビンゴゲームで盛り上がりました。

さらに今年6月9日には、会員家族18名が参加し、キッチンソムリエクッキングスクールにおいてオーナーシェフから直々の手ほどきを受け、フレンチ料理にチャレンジしました。これは、当クラブとして初めての試みです。

地区大会が終わりますと、まもなくクリスマスの時期を迎えますが、今年度のクリスマス家族会には出来るだけ多くの家族に出席してもらえようとの願い、12月22日の土曜日に開催することにしました。

「世界平和は家族から始まる」を我々の合い言葉として、当クラブは今後も家族を重要視したプログラムを企画していきたいと思えます。